



春の花物語

5月3日(木・祝)から13日(日)にかけて、鬼怒川レジャー公園内で春の花物語が開催されました。地元植物愛好家の方々が心を込めて育てた山野草の展示や草花の販売が行われ、会場には多くの観光客の皆さんが立ち寄り、可憐に咲いた草花に見入っていました。また、旅の土産にしようと家族で草花を吟味したり、育て方などについて熱心に尋ねたりしていました。



「足尾の山に100万本の木を植えるうー」を合言葉に、4月21日(土)・22日(日)に足尾町松木地区で、春の植樹デーが開催されました。友人に誘われて、今回初めて参加した笠野さん(宇都宮市)は、「昨年苗木を植えた場所が緑に茂っていてすごいと思いました。高い場所で作業するので、気持ち良くて楽しいです」と笑顔で話してくれました。この2日間の参加者は約1,300名で、約5,000本の苗木が植えられました。



皆さんも来年、春の植樹デーに参加して、春の空気を感じながら、未来への希望を植えてみませんか。

春の植樹デー

「足尾の山に100万本の木を植えるうー」を合言葉に、4月21日(土)・22日(日)に足尾町松木地区で、春の植樹デーが開催されました。

友人に誘われて、今回初めて参加した笠野さん(宇都宮市)は、「昨年苗木を植えた場所が緑に茂っていてすごいと思いました。高い場所で作業するので、気持ち良くて楽しいです」と笑顔で話してくれました。

弥生祭

日光に春の訪れを告げる弥生祭が、4月13日(金)から17日(火)にかけて行われました。昨年は東日本大震災の影響により開催されず、一昨年大雪のため17日の本祭が中止になっていた弥生祭。今回、江戸時代から伝わる見事な本家を披露した大工町は、12年に一度の先番当番町としての大役に合わせ、町内が一丸となって古くなった家体の修繕を行いました。筆頭頭役の稲葉紀有さんは、「みんなで協力して漆や金箔を丁寧に塗り上げ、メイド・イン大工町」の本家を完成させることができました。それぞれに年齢も職業も違う人たちが、同じ志で地域の団結を深める弥生祭は、今後も決して絶やしてはいけない日光の貴重な伝統文化です」と熱く語ってくれました。



春一番風街道2012



鬼怒川温泉で恒例となった風車のイベント、春一番風街道2012が3月24日(土)~5月6日(日)に開催されました。

鬼怒川温泉駅前広場や湯の街公園、滝見公園、鬼怒橋岩大吊橋を会場に、1万8,000本の風車が会場のテーマに合わせて青や黄色、ピンクなど色とりどりに飾られました。会場を訪れた方々は、見事に並んだ風車をバックに記念撮影をしたり、風を受けて勢い良く回る風車に見入ったりしていました。

鬼怒川温泉さくらまつり

4月15日(日)、鬼怒川温泉駅前広場で開催された鬼怒川温泉さくらまつり。天候に恵まれた会場では、地元商店街などによる模擬店や、まんじゅうを選んで宿泊券などを当てる抽選会が行われ、多くの人でにぎわいました。今年には桜の開花が遅れ、桜の花も蕾の中での祭りとなりましたが、よさこいの皆さんが羽織るピンクの法被が会場を華やかに彩りました。



また龍王太鼓の披露や、日光市出身の書道家・涼風花さんと琴奏者・てみさんによる競演などが行われ、祭りを盛り上げました。バルーンアートのステージでは、ハートやミッキーマウスなどに形作られた風船のプレゼントに子どもたちは大喜び。最後に花咲かじいさんによるガラマキも行われ、次々にまかれるお菓子などを取るうと手を伸ばしていました。

今月の表紙

足尾まつり

5月4日(金・祝)、足尾の春の風物詩である足尾まつりが行われました。銅山を守る山神社へ奉納する山神祭の伝統を受け継いだこの祭りは、毎年5月3日に開催されます。しかし昨年は、震災の影響で中止となり、今年は悪天候のため4日に延期となりました。当日は、足尾地域各地から集まった4台の山車が、お囃子を奏でながら足尾駅前、その後足尾銅山観光駐車場へ集まり、子どもたちが中心となって元気な踊りを披露しました。

北部自治会の山車でお囃子を演奏した前田菜摘さん(足尾町)は「とても楽しかったです。2年ぶりのお祭りなので、みんな気合十



分。天気が心配でしたが晴れてくれてよかったです。来年も再来年もずっと頑張ります」と元気いっぱい話してくれました。

